

# 大磯町事業仕分けの結果

		担当課	福祉課	担当班	障害福祉班
班一番号	予算事業名	詳細事業名			
1-9	障害者医療費助成事業	障害者医療費助成事業			

評価結果	コメント(仕分けの理由・今後に向けての提案等)	
1 不要		
2 民間		
3 大磯町 (要改善)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大磯が基礎自治体における福祉施策、事務統合で全国モデルをつくるという意欲を持って取組んでいただきたい。</li> <li>・町単独分の支出根拠を明確にデータで示すようにすること。</li> <li>・4級の中でも、進行性、医療費の多いものなどきめ細かい配慮が必要。</li> <li>・対象者の見直し、所得制限、年齢要件、介護必要度など。</li> <li>・県事業削減額を、住民に、明確に説明することにより、本来給付すべき人に財源が配分できる。</li> <li>・申請、給付の事務量も見直す。</li> <li>・拡充、縮小のどちらの方向への見直しだとしても、所得制限は必要。</li> <li>・現在制度改正に向けて検討を進めているということなので、町の実情、考え方に基づいた制度への変更を期待する。</li> </ul>
4 大磯町 (現行どおり)		
最終判定	大磯町 (要改善)	<p>見直し対象事業ということであるが、県の見直しは20年度に実施されるので、早急に進める必要がある。ただし、医療費助成については、広域的な対応が望まれる。</p> <p>理由としては、現物給付を前提とすると、医療機関としては市町ごとにバラバラな制度であると、事務負担が大きく社会的な負担は大きい。近隣地域のモデルとしてデータをまとめ、リーダーとして近隣市町の制度統一に役立ってほしい。</p>